

熱中症による救急搬送状況（R8. 5. 1～8. 30）について

県内の熱中症による救急搬送人員について、令和 8 年 5 月 1 日（調査開始日）から 8 月 30 日までの状況を取りまとめましたので、その概要を公表します。

- 令和 8 年 5 月 1 日から 8 月 30 日までの県内における熱中症による救急搬送人員は、503 人（速報値）でした。
- 年齢区分別、初診時における傷病程度別等の内訳は次のとおりです。
- ・ 年齢区分別では、高齢者が最も多く、次いで成人の順。
 - ・ 初診時における傷病程度別にみると、軽症が最も多く、次いで中等症の順。
- なお、死亡者は 0 名。

死 亡 初診時において死亡が確認されたもの
重 症 傷病程度が 3 週間以上の入院加療を必要とするもの
中等症 傷病程度が重症または軽症以外のもの
軽 症 傷病程度が入院加療を必要としないもの
その他 医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの

- ・ 発生場所別の救急搬送人員をみると、住居が最も多く、次いで道路の順。

住 居 敷地内全ての場所を含む
工場、工事現場等 道路工事現場、工場、作業所等
田畑、森林等 田畑、森林、海、川等（農・畜・水産作業の場合のみ）
教育機関 幼稚園、保育園、小・中・高等学校、専門学校、大学等
公衆出入場所〔屋内〕 不特定者が出入りする場所の屋内部分
（例：劇場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場 等）
公衆出入場所〔屋外〕 不特定者が出入りする場所の屋外部分
（例：競技場、各対象物の屋外駐車場、駅（屋外ホーム）等）
道 路 一般道路、歩道、有料道路、高速道路
そ の 他 上記に該当しない項目

- 直近 1 週間（8 月 24 日～8 月 30 日）における救急搬送人員（速報値）

搬送人員	年齢					傷病程度（初診時）				
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	死亡	重症	中等症	軽症	その他
29	0	0	3	5	21	0	1	6	22	0
発生場所										
住居	工場、工事現場等	田畑、森林等	教育機関	公衆出入場所		道路	その他			
				屋内	屋外					
8	3	2	0	2	9	4	1			

県内の熱中症による救急搬送状況(R6～R8)

1 年齢及び傷病程度(初診時)

(単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	年齢区分					初診時における傷病程度				
		新生児 (生後28 日未満)	乳幼児 (7歳 未満)	少年 (18歳 未満)	成人 (65歳 未満)	高齢者 (65歳 以上)	死亡	重症	中等症	軽症	その他
令和6年 (4/29～10/6)	679	0	1	58	195	425	1	16	199	460	3
	(構成比)	0.0%	0.1%	8.5%	28.7%	62.6%	0.1%	2.4%	29.3%	67.7%	0.4%
令和7年 (5/1～9/30)	853	0	1	55	237	560	1	29	272	551	0
	(構成比)	0.0%	0.1%	6.4%	27.8%	65.7%	0.1%	3.4%	31.9%	64.6%	0.0%
令和8年 (5/1～8/30)	503	0	5	43	144	311	0	17	145	341	0
	(構成比)	0.0%	1.0%	8.5%	28.6%	61.8%	0.0%	3.4%	28.8%	67.8%	0.0%
[参考] 対R7同期比 (5/1～8/31)	▲ 307	+ 0	+ 4	▲ 9	▲ 78	▲ 224	▲ 1	▲ 8	▲ 118	▲ 180	+ 0
[参考] 対R6同期比 (4/29～9/1)	▲ 127	+ 0	+ 4	▲ 14	▲ 32	▲ 85	▲ 1	+ 1	▲ 40	▲ 84	▲ 3

【集計対象】調査期間中に救急搬送した熱中症(疑い含む)の傷病者の人員数

2 発生場所別

(単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	住居	工場、 工事 現場等	田畑、 森林等	教育 機関	公衆出入場所		道路	その他
						屋内	屋外		
令和6年 (4/29～10/6)	679	303	64	20	18	52	83	92	47
令和7年 (5/1～9/30)	853	373	84	22	15	48	115	122	74
令和8年 (5/1～8/30)	503	190	45	31	15	36	70	80	36
[参考] 対R7同期比 (5/1～8/31)	▲ 307	▲ 171	▲ 35	+ 10	+ 1	▲ 9	▲ 33	▲ 35	▲ 35
[参考] 対R6同期比 (4/29～9/1)	▲ 127	▲ 96	▲ 14	+ 15	▲ 3	▲ 14	▲ 6	▲ 4	▲ 5

